

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- いじめのない学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育てほしい
- 地域に愛着をもってほしい

【学校教育目標】

未来を生きぬく子の育成

【めざす児童像】

- ①優しい子
- ②学ぶ子
- ③たくましい子

前年度の学校評価

- 学校は子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている。
- 学校は子供にわかりやすい授業を工夫している。

児童の実態

- 時間を守って行動できる
- 素直でやさしい
- 指示されたことに取組める
- 粘り強く取り組むことに課題が見られる

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進
- 教師の指導力の向上

豊かな心の育成

- ◎身のまわりのいじめや差別にすぐ気づき、人権を守ろうとする子どもの育成。
- ◎いじめの未然防止と早期発見

食に関する教育の推進

- ◎食と健康を関連づけ、自分の生活と結び付けて考える子の育成
- ◎基本的生活習慣の確立

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- 中学校校区間における連携の推進

具体的な取組

- 学力テストの結果を踏まえた授業改善に取組む
- 「有功タイム」「チャレンジタイム」「漢字博士試験」等を有効に活用し、基礎学力の定着に努める。
- 自主学習ノートの取組を推進し、家庭学習の定着を図る。
- 図書館の団体貸し出しを活用する等、図書の実用を図り、読書活動を推進する。

- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 人権学習をテーマにした授業を参観で公開し、保護者への啓発も図る。
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、学年に応じた指導を行う

- 「生活リズムチェック」を年3回実施し、生活習慣の自立を促す
- 「食と健康」の研究に引き続き取り組み、共に学び合う学習を展開する また、研究の成果をまとめ、結果の検証を行う。
- JA等関係機関との連携し、より実践的な学びができるように計画・実践する。

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信する。
- 有功中学校ブロックの小中4校合同で学校運営協議会を開催し、小中間・小小間の連携を推進・充実する。
- コロナ禍の中でもできる方法を考え、地域と交流推進を図る。

指標

- ・全国及び県の学習調査の無回答率が5%を下回る。
- ・「学校は子供にわかりやすい授業を工夫している」について保護者アンケートの肯定的な評価が90%以上

- ・学校が楽しいと感じる児童の割合が90%以上
- ・いじめ解消率100%

- ・朝ごはんの摂取率(児童100%)
- ・年間3回行う生活リズムチェックの個々の達成率の向上

- ・保護者アンケート「学校の様子がよく伝わった」について肯定的な回答が85%以上。

◎：特に重点的に取り組むこと